



平成 19 年 6 月 13 日

各 位

上場会社名 日本精密株式会社
(JASDAQ コード番号 : 7771)
代表者名 代表取締役社長 宮田 治
問合わせ先 取締役 田崎 政己
TEL (048)225-5311

第三者割当による新株式発行並びに
主要株主及び筆頭株主の異動に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 6 月 12 日開催の当社取締役会において、第三者割当による新株式の発行に関し、下記の通り決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

・ 第三者割当による新株式発行

1 . 新株式の発行要領

- | | |
|---|------------------------|
| (1) 発行新株式数 | 普通株式 3,500,000 株 |
| (2) 発行価額 | 1 株につき 金 182 円 |
| (3) 発行価額の総額 | 637,000,000 円 |
| (4) 資本組入額 | 1 株につき 金 91 円 |
| (5) 資本組入額の総額 | 318,500,000 円 |
| (6) 申込期日 | 平成 19 年 6 月 26 日 (火) |
| (7) 払込期日 | 平成 19 年 6 月 26 日 (火) |
| (8) 新株券交付日 | 平成 19 年 6 月 26 日 (火) |
| (9) 割当先および株式数 | |
| 株式会社ティージェイパートナーズ | 1,750,000 株 |
| グレース投資事業有限責任組合 | 1,650,000 株 |
| 小嶋和雄 | 100,000 株 |
| (10) 前記各号については、証券取引法による届出の効力発生を条件とする。 | |
| (11) 会社法第 124 条第 4 項の規定に基づき、平成 19 年 6 月 28 日開催の当社第 29 期定時株主総会の議決権を有することを、取締役会として決議いたしております。 | |

以 上

【ご参考】

1. 発行済株式総数の推移（資本金の額の推移）

現在の発行済株式総数	6,924,000 株（平成 19 年 6 月 11 日現在）
（現在の資本金の額	1,070,876,000 円）
今回の増加株式数	3,500,000 株
（増加する資本金の額	318,500,000 円）
増資後発行済株式総数	10,424,000 株
（増加後の資本金の額	1,389,376,000 円）

2. 増資の理由および資金の使途

（1）増資の理由

当社は、平成 19 年 3 月 13 日に「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」を開示し、3 月 16 日に「第三者割当による新株式発行の中止に関するお知らせ」の開示を致すなど、市場に無用の混乱を招き大変申し訳ありませんでした。その後大株主に新株予約権の行使をお願いし、16 日に「新株予約権の譲渡に関するお知らせ」の開示では 2,070,000 株の新株予約権の実行を見込んでおりましたが、23 日の一部変更及び 27 日の「新株予約権の大量行使に関するお知らせ」にあるとおり 1,190,000 株、362,950,000 円の調達に留まっております。

3 月 16 日に開示した「第三者割当による新株式発行の中止に関するお知らせ」では『「平成 19 年 3 月期 中間決算短信（連結）」、「平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）」でも明らかなおとり回復基調は明白であり、金融機関との関係も回復しつつあります』とご案内申し上げましたが、5 月 23 日に「特別損失の発生及び平成 19 年 3 月期通期（連結・単独）業績予想の修正に関するお知らせ」で開示いたしましたニッセイベトナムの在庫評価の厳格な見直しと機械装置の耐用年数の見直しによる業績予想の下方修正により、実行を見込んでおりました未消化の新株予約権の行使、並びに各金融機関からの借入再開が滞る事態となっております。

当社は 3 月 13 日既開示のとおり、平成 18 年 10 月 13 日当社の主力事業の 1 つの柱であるメガネフレーム事業の積極的展開、販路の確保を目的として、民事再生申請中の株式会社村井（本社：福井県坂井市、代表取締役社長：村井 勝、以下村井）の再建スポンサーとなり、メインの債権者である北陸銀行と協調して再建案の取り纏めを行っております。前回の調達資金で既に 120,000,000 円を支出済みですが、さらに債権額 500,000 円以下の小口債権者には全額を弁済する等、債権者の協力を得て、現段階において 72%の賛成を得ております。当社は全国販路の確保や新製品開発並びに海外商品の供給にスポンサーとして積極的に資金面、開発面で指導力を発揮し 6 月 19 日には債権者集会にて再建案の承認を得て、北陸銀行が別除権を設定している村井本社の不動産等の解除資金を投入する予定であります。

又もう一つの主力事業である時計バンドにおいては、RADO 社からの京セラ株式

会社のセラミックを使用した時計バンドの受注が増加し、5月よりセラミックの購入も前倒して増加しております。又同社と共同特許を取得し高付加価値路線を強化しており、引き続き茨城大学と産学協同の技術開発を進めております。さらに昨年、三井物産株式会社より取得した子会社が保有する特許を使用した消臭剤新製品の受注が好調に推移しております。当社は従来から目指しております付加価値の高い製品の供給開発を今後も積極的にしてまいり所存であります。メガネフレーム&時計バンドのOEM企業体系からの脱却は当社の長年の懸案であります。当社は第4(応用品)グループにおいて自社技術により既に除電気シリーズ6機種、防犯機器シリーズ3機種を開発商品化済みであります。今回の資金調達により、機種品の揃え強化、機能進化、販路の確保及びブランドの構築を行うための費用にあてます。

又昨年の増資によりシンジケートローンは完済致しましたが、金利上昇局面において当社の金利負担は軽いものではなく、有利子負債削減により営業外収支を改善することで早期の復配を目指したいと考えております。

そして今回の事業資金調達にあたっては、当社子会社であるニッセイベトナムへの投資による価格競争力の向上、並びに生産能力の拡大、新規開発費の計上による高付加価値新製品の開発、村井とのシナジー効果等、当社の将来計画に賛同をして頂ける投資者の方々への第三者割当による新株式発行を実施するものであります。なお、株式会社ティージェイパートナーズ、グレース投資事業有限責任組合、小嶋和雄氏は当社グループを長期的に支援するという方針で当社株式を長期保有する見通しであります。

(2) 資金の使途

今回の増資は、3月に計画して実現できなかった調達差額を行うものであり、当該第三者割当増資による資金の使途につきましては、新株式発行価額の総額 637,000,000円から発行諸費用の概算額 32,000,000円を控除した残額については、220,000,000円を村井の新会社資本金および不動産取得資金とし、100,000,000円をメガネフレーム(村井向け新製品開発)&時計バンド(含む特許グラフトン仕様)及び応用品グループ開発の新製品開発費に、100,000,000円を設備更新(ベトナムの工作精度向上を目的としたマシニングセンターの更新、金型設計人員のスキルアップの教育育成費、日本版SOX法対応の本社IT投資を含む)に、残額を有利子負債削減とする予定です。

- ・村井・・・6月19日に認可予定(既に72%以上の賛成を得ている)の新会社資本金(100,000千円)と不動産取得資金(120,000千円)として
- ・開発費・・・メガネ新型開発費(含む金型費)・・・10,000千円
時計バンド開発費(含む金型費)・・・20,000千円
防犯機器開発費(含む金型費)・・・20,000千円
除電気開発費(含む金型費)・・・30,000千円
- ・拡販費・・・グラフトン製品拡販費・・・20,000千円

- ・設備・・・ベトナム工場マシニング更新・・・・・・40,000千円
 金型設計人員教育費・・・・・・30,000千円
 本社IT投資・・・・・・30,000千円

前回調達資金の資金使途変更の有無
 変更になった部分は下記のとおりです。

- ・予定

設備投資	125,000千円(ワイヤーカット放電加工機、マシニング、 真空焼入炉等)
------	--
- ・実績

設備投資	28,900千円(ワイヤーカット放電加工機(4台)) 15,000千円(放電加工機(2台))
追加借入金返済	81,100千円

(3) 業績および配当の見通し

開発費として計上いたしますメガネ新型開発費は、村井のルートで販売する新商品の金型代に充当し、当社子会社のニッセイベトナムの受注拡大と稼働率向上に寄与するものと考えております。時計バンド開発費は、当社主力取引先であるRADO社への新規提案である茨城大学との共同開発品に充当いたします。国内及びスイスでの特許権取得に繋がる技術開発を行っており、RADO社からの新規受注に繋がるものと考えておりますが、実際に受注に繋がるのは来期以降であります。グラフトン製品開発費は、宝屋を中心にグラフトン消臭剤拡販や広告宣伝費の一部に充当し、今年度下期からの実績となる予定です。防犯機器及び除電気関係は、一部OEM企業体系からの脱却の為に新販売先の開拓等に充当し、他は今期から投入される4製品の金型費用となります。村井を除く今後の業績につきましては、平成19年5月25日に発表の決算短信で開示した20年3月期の連結業績予想に織り込み済みですが、再生計画では、村井については新会社への資本金払い込みを8月に予定しており、その時点で民事再生計画が終結し、当社の連結対象子会社となりますので、20年3月期の村井は半年分が連結対象となり、売上5億円、収益的にはプラスマイナス「0」を予想しております。

(4) 株主への利益配分

利益配分に関する基本方針

当社は、株主に対する配当の決定については、重要な政策の一つとして考えており、早期に復配が出来るように勤めてまいります。

配当決定にあたっての考え方

基本的には利益に対応して安定配当を行うことに留意しております。

内部留保資金の使途

財務体質の強化及び戦略的設備投資に役立て、将来に渡って付加価値の高い製品開発により継続的な成長が可能となる経営基盤を確立してまいります。

(5) 発行価額の決定方法

第三者割当による新株発行の価額については、新株式発行を決議した取締役会の直前日（平成 19 年 6 月 11 日）の株式会社ジャスダック証券取引所における当社普通株式の普通取引の最終価格 196 円を参考として、182 円（ディスカウント率 7.14%）としました。

(6) 割当先の概要

今回の増資においては、取締役会において数社の提案の中から、当社のニッセイベトナムを積極的に活用され、当社基幹事業の収益力を回復・強化し、取締役についても当社の海外事業展開や精密金属加工の受注拡大に繋がる方々をご推薦された株式会社ティージェイパートナーズ、グレース投資事業有限責任組合及び小嶋和雄氏は、当社の既存事業及び新規分野開発における当社の事業再生への考え方及び取り組みに対して、1994 年から進出しベトナムで果たして来た事業内容を評価いただき、従来路線に賛同を頂いております。又当社の財務面においては、金融借入がまだまだ高水準であることも理解をいただいているため、当社の財務リストラクチャリングに対する考え方及び取り組みに対しても賛同を得ております。当社はより一層の企業価値向上に向けた取り組み強化と財務面の強化は主要な経営の柱として掲げており、その 2 点に賛同いただけることが重要であり、最善であると判断いたしました。

株式会社ティージェイパートナーズ、グレース投資事業有限責任組合、小嶋和雄氏は、当社の経営方針及び理念に対して長期的な保有というスタンスであると考え新株式の発行を行うものであります。

割当先の概要

割当先の氏名又は名称	株式会社ティージェイパートナーズ	
割当株式数	1,750,000 株	
払込金額	318,500,000 円	
割当予定先の内容	住所	東京都新宿区新宿 1 - 27 - 2 8F
	代表者の氏名	代表取締役 早津一人
	事業の内容	経営コンサルタント業
当社との関係	出資関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係等	該当事項はありません

割当先の氏名又は名称	グレース投資事業有限責任組合	
割当株式数	1,650,000 株	
払込金額	300,300,000 円	
割当予定先の内容	住所	東京都港区赤坂 1 - 3 - 19 芳明ビル 7F
	代表者の氏名	無限責任組合員 渡邊康弘

	事業の内容	投資事業
当社との関係	出資関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係等	該当事項はありません

割当先の氏名又は名称		小嶋 和雄
割当株式数		100,000 株
払込金額		18,200,000 円
割当予定先の内容	住所	千葉県我孫子市白山 1 - 31 - 14
	現職	会社役員
当社との関係	出資関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係等	該当事項はありません

(注) 割当先の選定に関しましては、当社の将来性を見据えて長期的な保有を目的としております。

(7) 割当新株式の譲渡報告に関する事項等

今回の引受先が新株式発行の効力発生日から 2 年以内に割当新株式の全部または一部を譲渡する場合には、譲渡後直ちにその内容を当社へ報告する旨の確約を得ております。

なお当社は、平成 18 年 6 月 28 日に発行した第三者割当による新株式の発行に関し、「第三者割当等により割り当てられた株式の譲渡の報告等に関する規則」に基づく、譲渡に関する報告書の提出が 3 度遅延いたしました。今回の新株式発行に関して、当社は弁護士鈴木康司氏にご指導を仰ぎ、このような事態が 2 度と発生しないように努めます。今回の引受先は、取締役の推薦も頂いている事からも長期的な保有と当社の業績向上を目的としております。当社は、社内に第三者割当による引受先との連絡担当者を任命し、定期的に確約書の遵守依頼を引受先に行い、事務レベルにおいて当社と新株の割当先との間で毎週末に保有株式数の確認を行います。

(8) 今後の増資についての考え方

今後の事業展開並びに資金需要、業績見通しを踏まえたうえで、慎重に検討します。

(9) 増資日程

平成 19 年 6 月 12 日(火曜日)	新株式発行決議取締役会
平成 19 年 6 月 12 日(火曜日)	有価証券届出書提出(関東財務局)
平成 19 年 6 月 20 日(水曜日)	届出の効力発生
平成 19 年 6 月 26 日(火曜日)	申込期日
平成 19 年 6 月 26 日(火曜日)	払込期日
平成 19 年 6 月 26 日(火曜日)	資本組入日、新株券交付日

(10) 増資後の大株主の状況

順位	名称	所有株式数 (株)	構成比 (%)
1	株式会社ティージェーパートナーズ	1,750,000	16.8
2	グレース投資事業有限責任組合	1,650,000	15.8
3	トウエムアント・エフシーカンパニーリミテッド	1,190,000	11.4
4	篠邊 貞道	871,000	8.4
5	玉田 秀明	335,000	3.2
6	金 昌明	229,000	2.2
7	アンビシャス - 14号未来投資事業組合	160,000	1.5
8	IPO キャピタル投資事業組合 1号	160,000	1.5
9	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	148,000	1.4
10	IPO キャピタル投資事業組合(2号)	147,000	1.4
	計	6,640,000	63.7
	発行済株式総数	10,424,000	100.0

- (注) 1.平成19年3月31日現在を基準にしております。
2.当社が保有する自己株式 200,000 株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合 1.9%)は表中に含めておりません。
3.当社は平成18年6月28日を発行日として、340個の新株予約権を発行しております。当該新株予約権がすべて実行された場合は、大株主の状況は次のとおりとなる予定であります。

順位	名称	所有株式数 (株)	構成比 (%)
1	株式会社ティージェーパートナーズ	1,750,000	14.1
2	グレース投資事業有限責任組合	1,650,000	13.3
3	トウエムアント・エフシーカンパニーリミテッド	1,190,000	9.6
4	篠邊 貞道	871,000	7.0
5	DKR Soundshore Oasis Holding Fund Limited	700,000	5.6
6	篠田 博一	470,000	3.8
7	伊藤 吉久	369,000	3.0
8	玉田 秀明	335,000	2.7
9	金 昌明	229,000	1.8
10	小久保 暁	210,000	1.7
	計	7,774,000	62.7
	発行済株式総数	12,404,000	100.0

(11) 過去3年間に行われたエクイティ・ファイナンスの状況等
 エクイティ・ファイナンスの状況

年 月 日	増 資 額	増資後資本金	摘 要
平成 18 年 6 月 28 日	378,216,000 円	853,616,000 円	第三者割当による 新株式発行
平成 18 年 6 月 28 日	- 円	- 円	第三者割当による 新株予約権発行(注)

- (注) 新株予約権の発行総数 340 個 (1 個につき 10,000 株)
 新株予約権の発行価額 1 個につき 10,000 円 (1 株につき 1 円)
 新株予約権の行使により発行する株式の発行価額 1 個につき 3,060,000 円
 (1 株につき 306 円)
 新株予約権の行使により発行する株式の資本組入額 1 個につき 1,530,000 円
 (1 株につき 153 円)
 新株予約権行使状況 平成 19 年 6 月 11 日まで 142 個
 (増資額、217,260,000 円 増資後資本金、1,070,876,000 円)
 過去3年間および直前の株価の推移等

	平成 17 年 3 月期	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期	平成 20 年 3 月期
始値	260 円	327 円	347 円	237 円
高値	420 円	416 円	469 円	249 円
安値	220 円	210 円	217 円	171 円
終値	335 円	340 円	251 円	196 円
株価収益率	27.3 倍	-	-	
自己資本当期純利益率	2.5%	-	-	

- (注) 1. 上記株価は、平成 16 年 12 月 13 日より、ジャスダック証券取引所におけるものであり、それ以前は日本証券業協会公表のものであります。
 2. 株価収益率および自己資本当期純利益率については、平成 18 年 3 月期および平成 19 年 3 月期においては当期純損失を計上しているため、記載してありません。
 3. 平成 20 年 3 月期の株価につきましては、平成 19 年 4 月 1 日を始値、平成 19 年 6 月 11 日を終値として表示しております。

・主要株主である筆頭株主の異動、主要株主の異動、筆頭株主の異動

1．異動が生じた経緯

今回の第三者割当増資により発行される新株式 3,500,000 株は株式会社ティージェイパートナーズ、グレース投資事業有限責任組合、小嶋和雄氏に割当てます。この結果、下記のとおり主要株主である筆頭株主、主要株主、筆頭株主に異動が生じることが見込まれます。

2．当該主要株主の名称等

主要株主である筆頭株主となるもの

- (1) 名 称 株式会社ティージェイパートナーズ
- (2) 本店所在地 東京都新宿区新宿 1 - 27 - 2 8F
- (3) 代 表 者 代表取締役 早津一人
- (4) 主な事業内容 経営コンサルタント業

主要株主となるもの

- (1) 名 称 グレース投資事業有限責任組合
- (2) 本店所在地 東京都港区赤坂 1 - 3 - 19 芳明ビル 7F
- (3) 代 表 者 無限責任組合員 渡邊康弘
- (4) 主な事業内容 投資事業

筆頭株主でなくなるもの

- (1) 氏 名 トウエー・エム・シー・カンパニー・リミテッド
(常任代理人：桃尾・松尾・難波法律事務所 弁護士 難波修一)
- (2) 住 所 東京都千代田区 4 丁目 1 麹町グランドビル 6 階
- (3) 主な事業内容 投資事業等

主要株主でなくなるもの

- (1) 氏 名 篠邊貞道
- (2) 住 所 栃木県佐野市多田町 1083 番地 3
- (3) 主な事業内容 プラコム株式会社 代表取締役会長

3．異動前後における当該主要株主の所有議決権数（所有株式数）及びその議決権の総数（発行済株式総数）に対する割合

株式会社ティージェイパートナーズ

(1) 当該株主の所有議決権数（所有株式数）

異 動 前 -
異 動 後 1,750 個 (1,750,000 株) (株主順位 1 位)

(2) 議決権総数（発行済株式総数）に対する割合

異 動 前 -
異 動 後 16.8% (16.8%)

グレース投資事業有限責任組合

- (1) 当該株主の所有議決権数(所有株式数)
- | | |
|-----|----------------------------|
| 異動前 | - |
| 異動後 | 1,650個(1,650,000株)(株主順位2位) |
- (2) 議決権総数(発行済株式総数)に対する割合
- | | |
|-----|--------------|
| 異動前 | - |
| 異動後 | 15.8%(15.8%) |

ドゥワーフ・エフ・シー・エス・パブリック・リミテッド

- (1) 当該株主の所有議決権数(所有株式数)
- | | |
|-----|----------------------------|
| 異動前 | 1,190個(1,190,000株)(株主順位1位) |
| 異動後 | 1,190個(1,190,000株)(株主順位3位) |
- (2) 議決権総数(発行済株式総数)に対する割合
- | | |
|-----|--------------|
| 異動前 | 17.2%(17.2%) |
| 異動後 | 11.4%(11.4%) |

篠邊貞道

- (1) 当該株主の所有議決権数(所有株式数)
- | | |
|-----|------------------------|
| 異動前 | 871個(871,000株)(株主順位2位) |
| 異動後 | 871個(871,000株)(株主順位4位) |
- (2) 議決権総数(発行済株式総数)に対する割合
- | | |
|-----|--------------|
| 異動前 | 12.6%(12.6%) |
| 異動後 | 8.4%(8.4%) |

議決権を有しない株式として発行済株式総数から控除した株式数	1,000株
平成19年3月31日現在の発行済株式総数	6,924,000株

4. 異動予定年月日 平成19年6月26日

5. 今後の見通し

今回の第三者割当増資の引受けは、当社の将来性を見据えて長期的な保有を目的としております。

【ご参考】異動日(平成19年6月26日)現在の議決権総数、発行済株式総数及び資本金の額(異動予定日までに新株予約権の行使が行われた場合には、変更となります。)

議決権総数	10,423個
発行済株式総数	10,424,000株
資本金の額	1,389,376,000円

・取締役の選任

当社は、平成 19 年 6 月 12 日開催の取締役会において、平成 19 年 6 月 28 日開催予定の第 29 期定時株主総会において、出資先からの要請により取締役候補 4 名の変更を下記のとおり決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

当社「第 29 期定時株主総会招集ご通知」(平成 19 年 6 月 13 日発送予定)の「第 3 号議案 取締役 8 名選任の件」について、当社取締役会におきまして、議決権の代理行使の勧誘に関する参考書類中、第 3 号議案「取締役 8 名選任の件」に記載されている候補者、岡林博氏、江原正人氏、宮野公作氏、小久保暁氏を福光博一氏、金山和男氏、香取正康氏、石井雅之氏に変更する取締役候補者の一部変更を決議いたしました。

氏 名 (生年月日)	略 歴
福 光 博 一 (昭和 19 年 9 月 13 日生)	昭和 44 年 3 月 東京大学経済学部卒業 昭和 44 年 4 月 丸紅飯田株式会社(現、丸紅株式会社)入社 平成 6 年 4 月 丸紅香港株式会社取締役 平成 16 年 9 月 丸紅株式会社退社
金 山 和 男 (昭和 19 年 10 月 25 日生)	昭和 43 年 3 月 明治大学法学部卒業 昭和 43 年 4 月 株式会社 MRC 入社 昭和 50 年 8 月 (株)亜土電子工業設立 代表取締役社長就任 平成 12 年 4 月 (株)アール設立 代表取締役就任 平成 14 年 2 月 法政大学大学院 IT プロフェッショナル修士課程客員教授就任
香 取 正 康 (昭和 25 年 3 月 25 日生)	昭和 47 年 3 月 一橋大学商学部卒業 昭和 47 年 4 月 日本経営システム株式会社入社 昭和 60 年 5 月 株式会社香取マシナリ・コンサルティング 設立
石 井 雅 之 (昭和 35 年 10 月 26 日生)	昭和 60 年 3 月 法政大学経済学部卒業 昭和 60 年 4 月 京セラ株式会社入社 平成 15 年 10 月 キング・オブ・ザ・ワールド入社 平成 16 年 5 月 株式会社ベストリンク設立

(注)1. 各候補者と当社との間には利害関係はありません。

以 上